

港湾職業能力開発
短期大学 学校
横浜 学校

学校案内

YOKOHAMA HARBOR COLLEGE 2025

港 湾 流 通 科
物 流 情 報 科
港 湾 ロジスティクス 科



港湾・物流産業のスペシャリストは
ここから生まれる。





港湾職業能力開発短期大学校
横浜校
校長 山谷隆則

日本は海に囲まれた国であり、私たちの生活は海・港・船でつながっています。港は海上運送と陸上運送の接点として、輸出入貨物の99.6%を取り扱う重要なインフラであり、港湾運送事業者は、船の種類や貨物の種類に応じて、ガントリークレーンやトランスファークレーンなど様々な大型荷役機械を使って、船から積み卸しています。そんな海と陸を結ぶのが「みなと」であり、ここでの仕事が日本の経済を、そして私たちの暮らしを支えています。

横浜港は1859年に開港した国内トップクラスの港湾です。古くから海運業が盛んで、貿易や海上交通の要所として発展してきた、日本を代表する港町の一つであり、観光地としても人気のある街となっています。

そんな横浜港の一角にある本校は、港湾業界で活躍する人材を育むため、実技に重きをおく実践的なカリキュラムと、港湾業界の動向に対応すべく充実した設備・機器を設置し、高度な技能、技術を十分に習得できる環境を提供しています。また、一人ひとりにきめ細かく対応する少人数制で、確実な資格取得と就職を支援しています。

私達は、本校でお預かりする皆様が、日本を支える港湾業界で働くことができる実力を身に付けて、社会に旅立って行くことができるように、熱意を持って教育に取り組んでまいります。本校で学び、知識や技能・技術を身に付けて「みなとを動かす人材」になることを私達は応援します！

港湾カレッジの沿革

昭和 47 年 4 月	神奈川総合高等職業訓練校横浜港湾労働分校として開校、港湾荷役科を設置
昭和 63 年 4 月	港湾職業訓練短期大学校に改称し、港湾流通科と港湾運輸科を設置
平成 4 年 4 月	港湾運輸科を廃止し、物流情報科を設置
平成 5 年 4 月	港湾職業能力開発短期大学校横浜校に改称
平成 16 年 4 月	港湾ロジスティクス科を設置
平成 27 年 4 月	神奈川支部港湾職業能力開発短期大学校横浜校に改称



港湾労働分校開設当時の校舎・実習場(現在の教室棟)



昭和 49 年頃揚貨装置の実習風景
埋め立て前のため、岸壁を隔ててすぐに海があった。



現在の校舎

YOKOHAMA HARBOR COLLEGE 2025



湾職業能力開発短期大学校横浜港

学校案内 2025

Contents

学校長挨拶・沿革	P1
取得を目指す資格	P4
アクセスマップ.....	P5
校内マップ・フロアガイド	P6
各科紹介	
港湾流通科	P7
物流情報科	P11
港湾ロジスティクス科	P15
入校料・授業料・経費・減免制度など	P19
就職支援・就職実績.....	P21
入試概要	P23
出身高校.....	P25
Q & A	P26

取得を目指す資格

License for Jobs

港湾流通科

P.07

物流情報科

P.11

港湾
ロジスティクス科

P.15

● 校内実習で取得可能な資格

フォークリフト運転技能講習



港湾流通科 物流情報科 船ロジスティクス

港湾荷役、倉庫作業全般で必要な資格です。

神奈川県労働局長登録教習機関第88号

登録有効期限:2024年3月30日
更新手続き中

玉掛け技能講習



港湾流通科 物流情報科 船ロジスティクス

港湾荷役、倉庫作業全般に必要な資格です。

神奈川県労働局長登録教習機関第89号

登録有効期限:2024年3月30日
更新手続き中

● 授業・選択実習でサポート可能な資格

校外での受験が必要（受験料等自己負担）



移動式クレーン運転士免許

港湾流通科 物流情報科 船ロジスティクス

荷役作業であると便利。いろいろ仕事で活用できます。

・運転実技(移動式クレーン運転実技教習:神奈川県労働局長登録教習機関第129号登録有効期限:2024年3月30日 更新手続き中)→校内実習で取得可能

・学科試験 → 各自、自己負担により校外で受験

クレーン・デリック運転士免許(クレーン限定)



港湾流通科 物流情報科 船ロジスティクス

ガントリーマンになるなら必携



揚貨装置運転士免許

港湾流通科 物流情報科

ガントリーマンになるなら必携

大型特殊自動車運転免許



港湾流通科 物流情報科 船ロジスティクス

港湾荷役で必要な時があります。他の仕事でも活用

貿易実務検定(C級、B級)

国際貿易の勉強の目標として

港湾流通科

ロジスティクスオペレーション3級

物流情報科 船ロジスティクス

ロジスティクス管理3級

物流業界で働く知識の目標として

物流情報科

日商簿記3級

物流業界で働く知識の目標として

物流情報科

危険物乙種第4類

倉庫業の就職であると便利

物流情報科 船ロジスティクス

● 修了(見込み)により得られる受験資格

国家公務員Ⅱ種採用試験受験資格(年齢制限あり)

港湾流通科 物流情報科 船ロジスティクス

職業訓練指導員免許(修了後実務経験が必要)

港湾流通科 物流情報科 船ロジスティクス

アクセス

周辺MAP



交通機関(市営バス)

横浜駅東口または桜木町駅から

1 番のりば 26 系統
 「港湾カレッジ」「海づり棧橋」
 「横浜港シンボルタワー」行き乗車



港湾カレッジ前下車
 乗車時間約 40 分

JR 根岸駅前から

7 番のりば 97 系統
 10 番のりば 54 系統
 全行き先のバス乗車
 (ただし、54 系統「本牧車庫前」行きを除く)



日産本牧専用埠頭下車、徒歩約 7 分
 乗車時間約 15 分

みなとみらい線 元町・中華街駅から

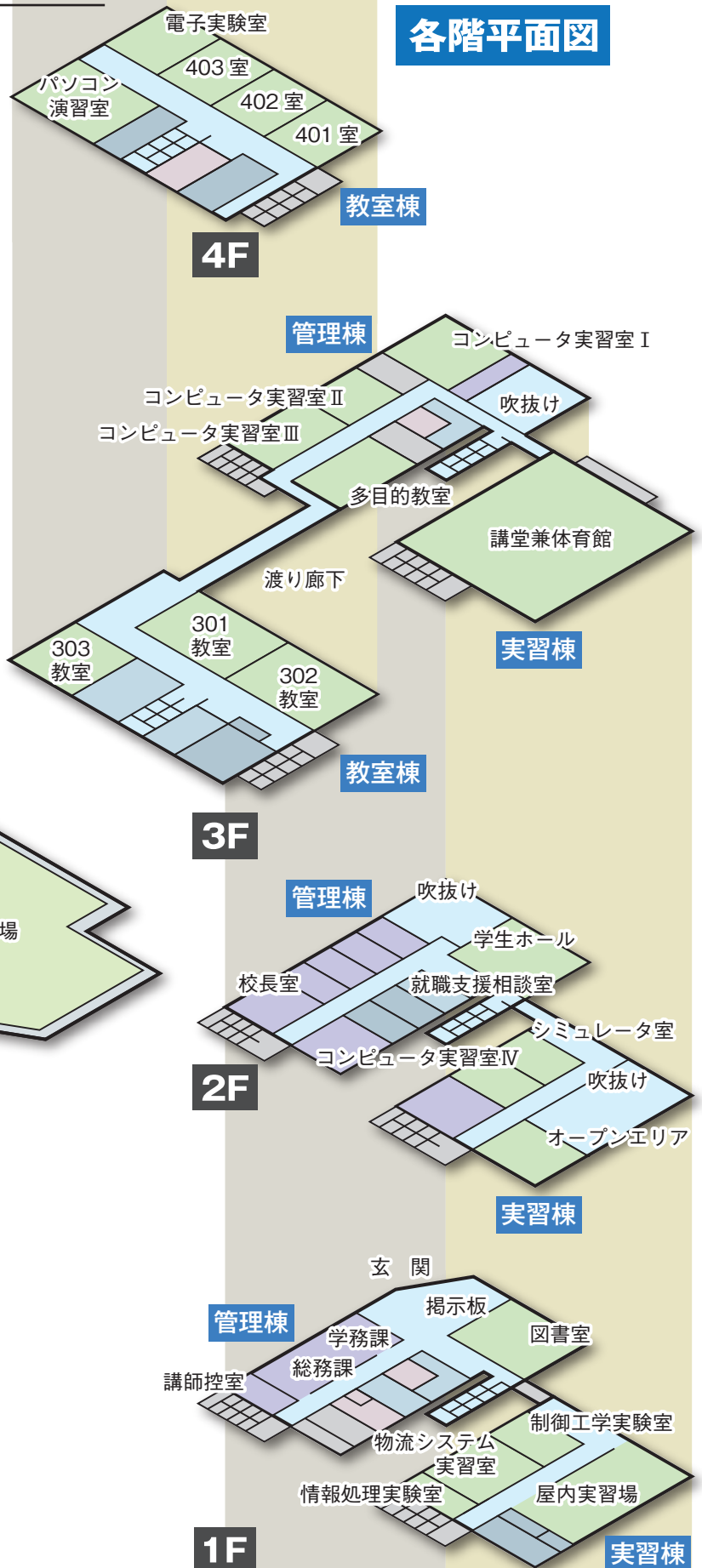
徒歩約 5 分
 バス停 26 系統
 「山下橋」より乗車
 「港湾カレッジ」「海づり棧橋」
 「横浜港シンボルタワー」行き乗車



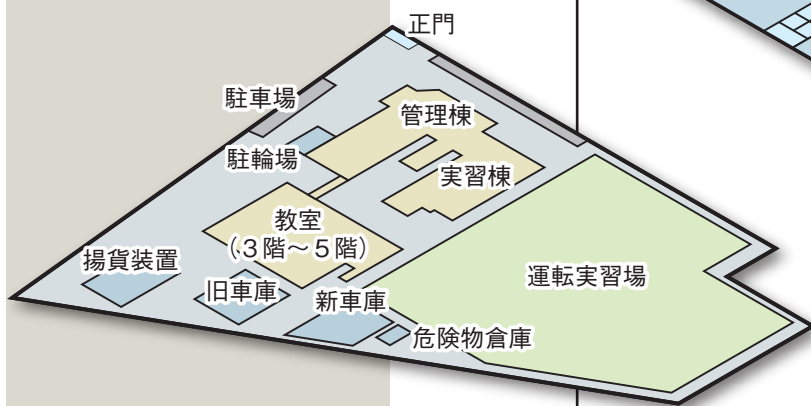
港湾カレッジ前下車
 乗車時間約 15 分

校内マップ

各階平面図



建物配置図





定員 **20** 名
4 月入校

港湾流通科

Port Distribution Department

港での重要な仕事にかかわる「ミナト人」の育成をします。

今日、港の仕事は、国際化・情報技術の進展の中で大きく変わり、荷役技術については機械化・自動化され、取り扱う貨物も多様化しています。また、貿易・通関・国際物流についてはより複合的な知識や技術が必要とされています。

世界への窓口である「港」では、こうした状況をしっかり把握し、適切に対応できる多様な能力が求められています。これに応えるのが「港湾流通科」の使命です。

主に「港」に関わる
知識を習得

■ 海外から船舶で輸出入される貿易貨物の流れ

- 荷役業務
- 貿易実務、通関手続等の事務
- 港湾における情報処理業務
- 倉庫内での在庫管理業務



ガントリークレーン



パソコン実習



コンテナ

カリキュラム3つの特色

POINT

1

貿易実務

通関などの輸出入業務、貨物の受け渡し業務、倉庫、物流センターなどにおける入出庫業務や在庫管理業務

POINT

2

港湾技術

港湾における船内、沿岸、倉庫荷役、貨物の運送、取扱いに関する知識、フォークリフトの運転、荷役作業、コンテナ輸送の荷役、コンテナの積み付け計画の作成

POINT

3

港湾情報

貿易書類の作成、在庫管理システムの作成

選択実習 (専攻コース) ※1年後期よりスタート(希望する企業・業種によって分かります)

国際物流コース

目標

通関などの輸出入業務、貨物の受渡業務、倉庫、物流センターなどでの入出庫業務、在庫管理業務等に従事することを旨す

荷役機械コース

目標

港湾での荷役業務に従事することを旨す

ガントリーマンコース

目標

ガントリークレーンオペレータになることを旨す

フォアマンコース

目標

在来船、コンテナ船、自動車専用船などのフォアマン*を旨す

※フォアマンとは荷役作業全般の指揮にあたる荷役監督のことです。

年間スケジュール

1年生

- 4月……入校
- 6月……フォークリフト運転技能講習受講
- 10月……就職活動準備
玉掛け技能講習受講
- 11月……就職活動準備 (一般常識試験受験)
- 1月……業界研究セミナー
就職活動開始
就職希望職種のコース選択

2年生

- 10月……総合制作実習*
- 2月……総合制作実習発表会(ポリテックビジョン)
企業委託実習(インターンシップ)
- 3月……修了

※総合制作実習とは、テーマを決めて調査研究を行うもので、ポリテックビジョンとは、その調査研究結果の発表会です。

総合制作実習



発表風景



ふ頭の模型



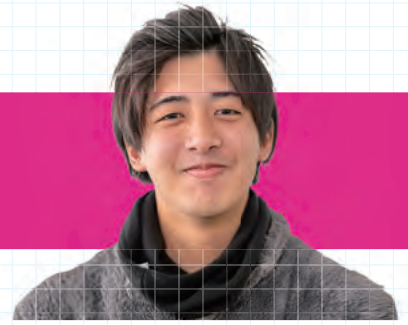
倉庫の模型

在校生

インタビュー

港湾流通科令和5年度入校

岩熊 健二



Q1 この学校に入ったきっかけは？

A1 高校時代にマーケティングを学んでおり、モノ・サービスの流れについて興味を持ち国際物流の入り口である港湾の仕事を学べるこの短大の存在を知り、入校しました。

Q2 好きな授業・実習は？

A2 体を動かして学べるフォークリフトなどの実習や港湾設備や貿易用語などを学べる学科の授業が好きです。

Q3 目指している仕事？思い描いている夢は？

A3 フォアマンを目指しています。体を動かしてみんなで作業するのが私に向いていると先生方からも勧められました。フォアマンは港湾の花形と呼ばれる仕事だからフォアマンになることを目標に修了まで勉強を続けます。

Q4 この学校のおすすめポイントは？

A4 先生は面白い方が多く、港についての知識も豊富です。また授業では、実習や実験時間も多いため知識や技術をしっかり学ぶことができます。また、クラスの人数が少ないので友達が作りやすく、一致団結できることもおすすめです。



講師からのメッセージ

▶ **どんなことを学ぶための学科ですか？**

日本から輸出・輸入される貨物は、必ず「港」を経由します。「港」は世界の玄関口であり、とても重要な役割を担っています。その「港」で働くための基礎となる土台を学ぶための学科です。

▶ **就職先として、どんなところを想定されていますか？(業界のこと、仕事のこと)**

2つのタイプがあります。実際にコンテナなどの貨物と向き合って作業する現場職と、貿易・通関書類と向き合って作業する事務職があります。現場職、事務職いずれにせよ、国際物流の最先端の業界であることに違いありません。

▶ **在学中にどんな資格を取得できますか？(サポートも含めて)**

フォークリフト運転技能講習、玉掛技能講習は授業の中で取得可能です。また通関士試験、貿易実務検定、クレーン・デリック運転免許、揚貨装置運転士免許、大型特殊自動車運転免許、移動式クレーン運転士免許のサポートをしており、在学中に取得する学生もおります。

▶ **現在はどんな学生さんが多いですか？(入学の目的など)また、どんな学生さんにきてほしいですか。**

ガントリークレーンで大きなコンテナを動かしたい、フォークリフトを運転することで外国の貨物と触れ合いたい、貿易に興味があり通関士をめざしたいという学生さんが多いです。「港」で働きたいという希望の学生さんに、ぜひとも来ていただきたいです。



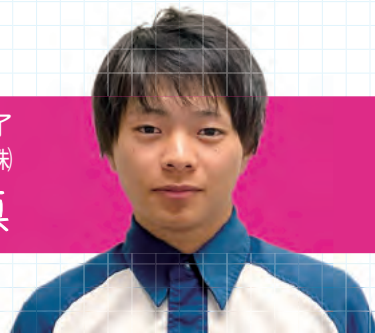
港湾流通科 講師
智田 幹弥

修了生

インタビュー

港湾流通科令和3年度修了
丸全昭和運輸(株)

清家 拓真



Q1 現在の仕事とやりがいは？

A1 丸全昭和運輸は、横浜に本拠地を置く海上輸送、陸上輸送、航空輸送と幅広い分野を取り扱う総合物流企業となります。現在は、本牧埠頭の上屋で輸出入の保税業務をおこなっております。私がいる現場では、時に数十トンといった貨物を取り扱うことがあり、荷役現場を見ると緊張しますが成功した時には達成感を感じます。

Q2 港湾短大で学んだことで仕事に活かされている点は？

A2 港湾短大で学んでいて良かったと思ったことは、港湾業界でよく使用する用語を学べたことです。例えば、20feet(フィート)や40feetといったコンテナの規格や種類を表す言葉、パレットやカートンなどの貨物の形状や性質を表す言葉を知っているだけでも現場でのなじみやすさは格段に違います。

Q3 後輩(高校生や在校生)へ向けてのメッセージをお願いします

A3 学生生活でも仕事でも生活の中に楽しみを見出すことが大切だと思います。港湾業界といっても幅広いです。いろいろなものに興味を持ち、挑戦してみてください。成功しても失敗をしても必ずその経験は次へ繋がると思います。

● 上司の方より

弊社の港運部本牧B8埠頭営業所では、主に指定保税地域として上屋・野積場とも外国貨物の取り扱いをしております。特に大型フォークリフトを所有しており、プラント貨物や重厚長大貨物の輸出入のコンテナ貨物の取り扱いをしております。

清家さんは、積極的に業務に取り組み入社3年目で現場作業の優先順位を考えながら仕事が出来ようになりました。更にお客様、先輩社員、現場作業員からの信頼も厚く業務を円滑に遂行しております。今後は更に業務の質を高め、営業所の中心的存在として成長を遂げる事を期待致します。



丸全昭和運輸(株)
櫻井 理人さん



港湾短大の揚貨装置

丸全昭和運輸 株式会社

会社紹介

横浜に本社を構え、昭和6年の創業以来、一貫して物流業を営んでいる創立92年を迎えた会社。お客様第一主義をモットーに、海・陸・空すべての分野で物流業務を網羅し、グローバルなネットワークと先進の情報システム、豊富な現場力を活用して3PL事業を核として事業を展開している総合物流企業。「物流は、愛だ。」というブランドスローガンのもと、物流の新しい価値を創るために、DXの推進やSDGsなどにも積極的に取り組んでいる。



定員 **20** 名
4 月入校

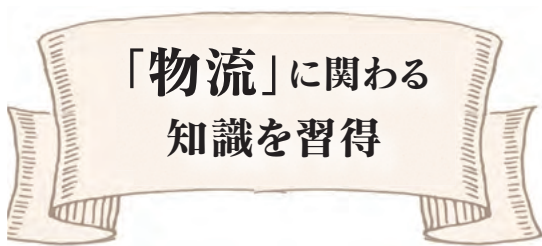
物流情報科

Logistics Information Department

時代のニーズに対応した「物流のスペシャリスト」を育成します。

「物流」とは、製品を生産地から消費者の元までスムーズに運ぶために必要とされる輸送、保管、荷役、包装（梱包）、物流情報処理、流通加工などの過程をひとまとめにしたものです。

私たちの生活には「物流」は欠かせないものであり、「物流」がなくては我々の生活は成り立ちません。社会に貢献できる意義ある仕事＝「物流」を支えるスペシャリストを目指すのが「物流情報科」の使命です。



■モノが生産地から消費者に届くまでの流れ

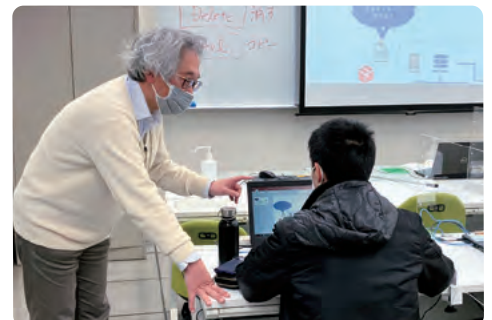
- 輸送業務
- 保管業務
- 荷役業務
- 梱包(包装)業務
- 倉庫(物流センター)の運営・管理業務
- コンピュータで荷物の「情報」を管理・支援＝「物流情報システム」の運用業務



ホイールローダー



物流情報システム実習



カリキュラム3つの特色

POINT 1

物流管理

物流の基本的なしくみ(システム)、物流マネジメント(在庫管理)実習、倉庫、港湾、空港の仕事に必要な知識、技術、倉庫、物流センターの運営、管理

POINT 2

情報技術

物流情報処理の知識、技術、物流情報システム(受発注処理、輸配送計画、需要予測ほか)の運用業務

POINT 3

自動化技術

自動化、高度化に対応できる物流機器の制御技術

選択実習(専攻コース)※1年後期よりスタート(希望する企業・業種によって分かれます)

ロジスティクスコース

目 標

倉庫、物流センターの運営、管理部門に従事することを旨す

荷役機械コース

目 標

倉庫・物流センターでの荷役業務に従事することを旨す

ガントリーマンコース

目 標

ガントリークレーンオペレータになることを旨す

年間スケジュール

1年生

- 4月……入校
- 6月……フォークリフト運転技能講習受講
- 10月……就職活動準備
玉掛け技能講習受講
- 11月……就職活動準備(一般常識試験受験)
- 1月……業界研究セミナー
就職活動開始
就職希望職種のコース選択

2年生

- 10月……総合制作実習*
- 2月……総合制作実習発表会(ポリテックビジョン)
企業委託実習(インターンシップ)
- 3月……修了

※総合制作実習とは、テーマを決めて調査研究を行うもので、ポリテックビジョンとは、その調査研究結果の発表会です。

総合制作実習



ドローン



発表会場



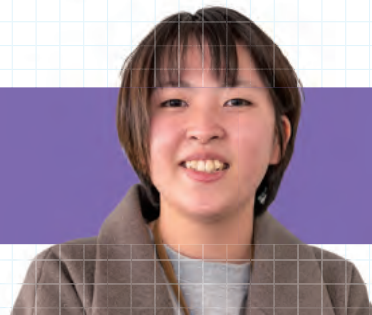
発表風景

在校生

インタビュー

物流情報科令和5年度入校

飯島 青依



Q1 この学校に入ったきっかけは？

A1 高コロナ渦でコンテナが不足している、というニュースから物流に興味を持ちました。島国にとって輸出入の滞りは大きな痛手になると考え、小さなネジでいいからみんなの生活を支える自分も力になりたい！と思いこの学校に入りました。

Q2 好きな授業・実習は？

A2 基礎工学実験が好きです。
レポートは大変だけど将来することになる書類作成の練習と思って取り組んでいます！
グループやペアで実習を進めていくのでチームワークも深まって、いいことづくめです！

Q3 目指している仕事？思い描いている夢は？

A3 日本の「食」を支える仕事に就きたいです！自分の仕事や努力であっただかい食事と笑顔をたくさん届けることを目標にしています。

Q4 この学校のおすすめポイントは？

A4 実践と座学のセットで知識も経験も得られるところ！
学んで終わりではなく、本当にそうか、実際に行動することでより深い専門知識を得られます！



講師からのメッセージ

▶ **どんなことを学ぶための学科ですか？**

「物流のスペシャリストの育成を目指し取り組んでいる科です。」

▶ **就職先として、どんなところを想定されていますか？(業界のこと、仕事のこと)**

倉庫、物流センターの運営管理や貿易実務等を行う港湾・物流企業や物流システム及び物流情報システムの開発運用等を行う企業の就職を想定しています。

▶ **在学中にどんな資格を取得できますか？(サポートも含めて)**

フォークリフト運転技能講習修了証・玉掛け技能講習修了証は授業内で取得可能です。
サポート可能な資格(郊外での受験が必要)としては、クレーン・デリック運転士免許・移動式クレーン運転士免許・揚貨装置運転士免許・大型特殊自動車運転免許・貿易実務検定・ロジスティクスオペレーション3級・ロジスティクス管理3級・日商簿記3級などがあります。

▶ **現在はどんな学生さんが多いですか？(入学の目的など)また、どんな学生さんにきてほしいですか。**

港湾・物流関連企業での就職を希望する学生が多いです。理由としては、港湾・物流関連企業で働いている方の関係者が近くいる学生が多いこと、コロナの影響で物流の必要性がグローズアップされ興味を持ち当校に入校してきた学生がいることです。
望む学生像としては元気があり何事にも積極的に取り組み就職意欲の高い方です。



物流情報科 講師
玉城 克也

修了生

インタビュー

物流情報科平成30年度修了
(株)味の素コミュニケーションズ
城海 紗菜



Q1 現在の仕事とやりがいは？

A1 食品の輸出業務を担当しており、工場内倉庫でフォークリフトに乗って入出庫作業や海上コンテナを使用した輸出立会業務を行なっています。世界中の食と健康を水面下で支えているところにやりがいを感じています。

Q2 港湾短大で学んだことで仕事に活かされている点は？

A2 フォークリフト操作や運転は勿論のこと、海上コンテナを出荷するにあたって書類を作成しますが、その書類作成は港湾短大の授業で習っていたのと同じだったので大変役に立ちました。また、PCスキルや検品作業も港湾短大で学んだ事が活かされました。

Q3 後輩(高校生や在校生)へ向けてのメッセージをお願いします

A3 幅広い世代の方々が会社にはいますが、とても働きやすい職場です。港湾短大で経験した事は必ず仕事に役立ちます。それ以外でも、学生生活を通じてコミュニケーション能力を身に付けておくこと社会に出てから非常に役立ちます。
近い将来、一緒に働ける事を楽しみにしています。

● 上司の方より

現場はみなさんの若いパワーを必要としています。なりたい自分の将来像に向け学生生活を通じて様々な経験を積んで、社会に羽ばたいてください。仕事を通じてみなさんと出会える日を楽しみにお待ちしております。

(株)味の素コミュニケーションズ
構内ロジスティクス部 1グループ
相原 孝充さん

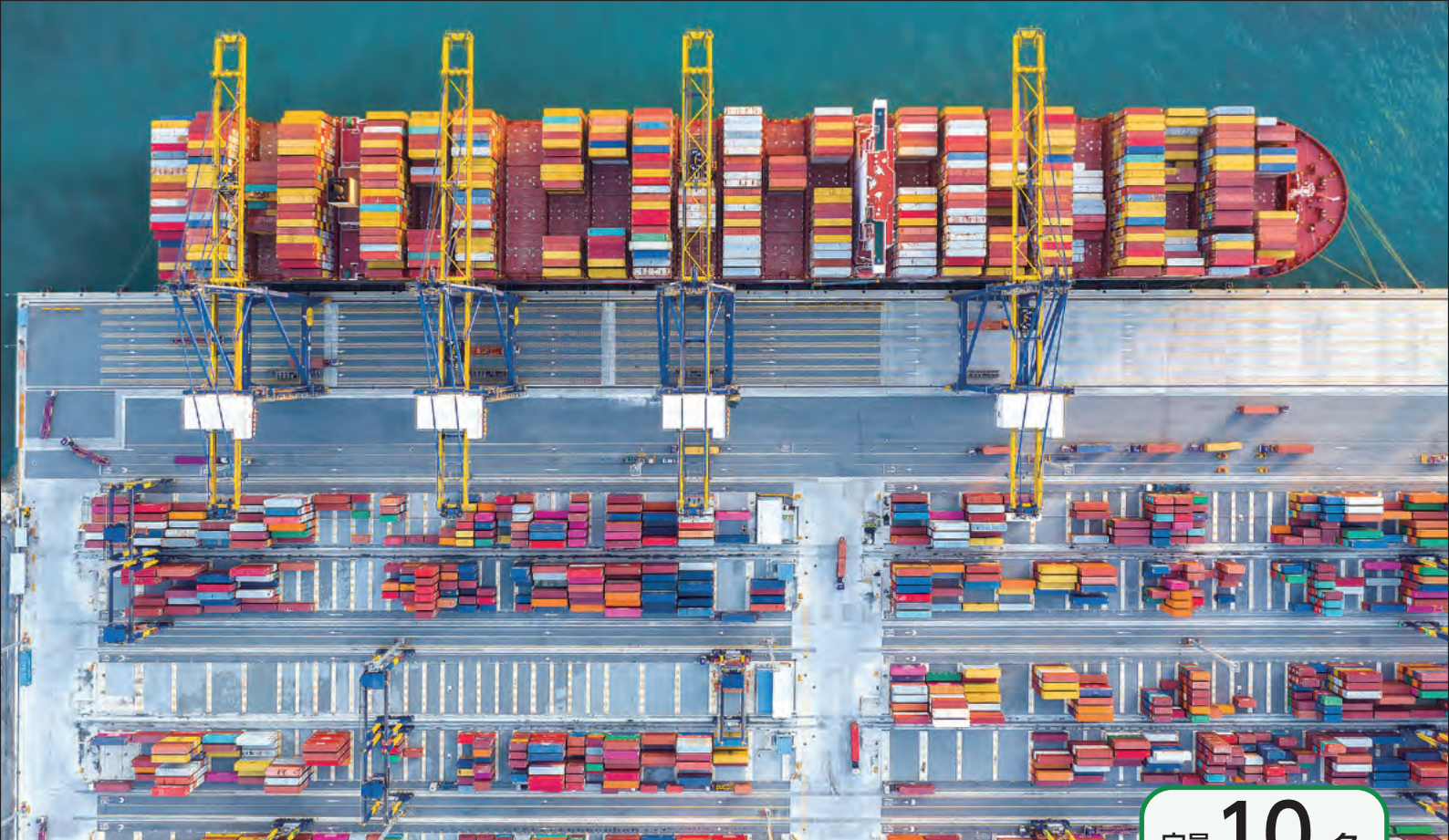


港湾短大の荷役機械

株式会社 味の素コミュニケーションズ

会社紹介

当社は、味の素社に関わる製品企画から製品が生活者にお買い求め頂くまでの業務をマーケティングサポート・総合保険サポート・工場内サポートと3つの事業が連携・機能し、開発・生産から販売までのバリューチェーンに貢献する業務を行っております。ロジスティクスサポートでは、入荷時の検品から倉庫保管、確実な出荷まで構内物流をトータルでサポートしております。物流の知見を活かした徹底した管理体制で、安心・安全な構内物流を実現します。データ入力や棚卸、廃棄物運搬といった業務も含め、トータルでサポートする業務となっております。



定員 **10** 名
10月入校

港湾ロジスティクス科

Port Logistics Department

校内での講義・技能習得プラス企業での実習で即戦力を目指す。

港湾や物流を取り巻く環境 - ロジスティクス、荷役、通関などについて学ぶとともに、企業実習（1～4週間程度）、就労型実習（6ヶ月程度）により実際の企業現場での実習を経験し、企業のニーズに対応できる実践力を付けることを目的とし、全員正社員での就職を目指します。

講師陣には港湾・物流業界の出身や、現役で活躍されている方々をお迎えし、テキストには載っていない現場ならではの体験談が聴けることも大きな特色の一つです。



フォークリフト



屋外実習場



図書室

企業実習を取り入れ 「港湾」・「物流」 業界での実践力を育成

- 概ね55歳未満の方
- 現在、無職または就労中の方(パート、アルバイトも含む)
- 導入訓練(横浜港や税関、港湾・物流関係企業の見学)
- 準備訓練(ビジネスマナーや業界特有の常識、安全衛生)
- 港湾・物流の学科(貿易、通関、荷役、倉庫、情報、輸送、コンテナ、法令等)・実技(フォークリフト運転実習等)
- 企業実習、就労型実習による港湾・物流現場での実務体験
- キャリア・カウンセリングを軸とした就職支援

カリキュラム3つの特色

POINT 1

施設内訓練

港湾・物流の基本的知識を広く学びます。貿易や通関、荷役、倉庫、情報、輸送、コンテナ、法令など多岐にわたりフォークリフト等の運転実習も行います。

POINT 2

企業委託実習

港湾・物流関係企業において1~4週間の実習を行います。学校内で習得した知識・技術の確認と応用を実施し、当初の目的意識の再確認を行います。

POINT 3

就労型企业実習

学校内で習得した技能・技術をもとに、実際の現場での就労を通し実践的な能力を習得します。この間教員による巡回を行い個々の状況に応じてサポートします。

年間スケジュール・履修科目

1年生

- 10月……就職活動準備
玉掛け技能講習受講
- 11月……就職活動準備(一般常識試験受験)
- 1月……業界研究セミナー
就職活動開始
- 6月……フォークリフト運転技能講習受講

2年生

- 12月……企業委託実習(インターンシップ)(約一カ月)
- 4月……就労型企业実習*(6か月)
- 9月……修了

※就労型企业実習とは、学校内で習得した技能・技術をもとに、実際の現場での就労を通し実践的な能力を習得するものです。

講師からのメッセージ

▶ どんなことを学ぶための学科ですか?

2年間の学生生活のうち、企業実習が1ヵ月間と6ヵ月間の2回あり、実質、学校での授業時間が1年半と短いため、港湾流通課と物流情報課のカリキュラムを総合的かつ集中的に学びます。

また、定員10名の少人数制であり、きめ細かな学生支援ができます。

▶ 就職先として、どんなところを想定されていますか?(業界のこと、仕事のこと)

2024年問題も含めて物流企業の人手不足は顕著ですが、国内で物流を専門的に学ぶ学校は少ないです。港湾や倉庫を中心とした専門知識や技術を習得し、採用された企業様からは感謝されることも多いです。

▶ 在学中にどんな資格を取得できますか?(サポートも含めて)

現場作業で必要となるフォークリフト運転技能資格、玉掛け技能資格が授業で取得できます。ほかに移動式クレーン運転士免許、大型特殊自動車の運転実習もあります。また、危険物取扱者乙4、貿易実務検定C級、簿記検定、ビジネスキャリア検定(ロジスティクス)などに関係する授業もあります。

▶ 現在はどんな学生さんが多いですか?(入学の目的など)また、どんな学生さんにきてほしいですか。

当科は10月入校ということもあり、高校新卒者よりも既卒者や社会人経験がある方がほとんどです。国民生活や経済を支える社会的インフラである物流に興味のある方。



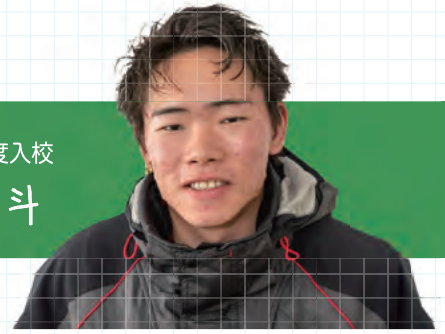
港湾ロジスティクス科 講師
山崎 俊哉

在校生

インタビュー

港湾ロジスティクス科令和5年度入校

菅原 海斗



Q1 この学校に入ったきっかけは？

A1 自分は元々ボクシングをしていてスポーツや栄養の学校を考えていましたが、父親に相談し将来が安定した職業に就ける港湾短大に入校を決めました。

Q2 好きな授業・実習は？

A2 英語、商業英語は、幅広い業界で使うことができるので熱心に取り組んでいます。元々、海外の音楽、ファッション、文化に興味があるため英語の時間は一番楽しいです。

Q3 目指している仕事？思い描いている夢は？

A3 今の目標は倉庫業界に就職したいと考えています。倉庫業界の会社の中には物流以外にも不動産、現代アート、ファッション、音楽などにも力を入れている会社もあり、元々一つのことに縛られるより色々なことに触れたいと思っているので、それが叶えられる会社がいいなと思っています。

Q4 この学校のおすすめポイントは？

A4 許可ができれば車で通学できるということなんです。就職にも使えるので車の免許を取っておいた方がよいと思います。



港湾ロジスティクス科は日本版デュアルシステムにより運用しています。

日本版デュアルシステムは、ドイツのシステムを手本に2004年4月厚生労働省と文部科学省が連携しスタートしました。「学校と企業の両方で学ぶ」ことにより、即戦力の職業人を育てる新しい職業訓練システムであり、人材育成システムでもあります。企業委託実習・就労型企業実習と並行して、これに関する内容を座学で学び、就職に直結した訓練を行います。

実習風景



修了生

インタビュー

港湾ロジステクス科令和2年度修了
トナミ国際物流(株)
浦口 健



Q1 現在の仕事とやりがいは？

A1 現在は、東京・大井ふ頭にある大井センターにて貨物の確認、入出庫とコンテナ作業の立会、保税関係業務やNACCS入力などを行っています。
どんな仕事でも円滑に進めるための事前準備が大切ですが、十分に準備を行っていても突発的に予定外の出来事が起こることがあります。そんな時でも冷静に、臨機応変な対応を取るよう心掛けています。

Q2 港湾短大で学んだことで仕事に活かされている点は？

A2 業界の仕組みや用語など、仕事での様々な場面において、港湾短大で学んだ知識や実習授業がとても役に立っています。配属された際も、何も分からないゼロからのスタートに比べ、言葉の理解ができたことによりスムーズに仕事に慣れることができました。

Q3 後輩(高校生や在校生)へ向けてのメッセージをお願いします

A3 港湾短大はこれから物流業界で働くことを真剣に考えている者にとって最適な環境が備わっていると思います。

● 上司の方より

浦口さんには東京港上げの輸入、輸出作業の窓口として、コンテナ作業やトラックでの搬出入立会検品、貨物管理、保税関係業務やNACCS入力を担当してもらっています。

約2年前に他部署より異動してきた当初から、自ら上司や同僚、関係会社の諸先輩に積極的に指導を受け、仕事を覚えていこうとする姿勢が見受けられました。これからは初心を忘れず、次世代のリーダーへと育ててもらいたいと考えております。



トナミ国際物流(株)
石渡さん



港湾短大の玉掛け実習

トナミ国際物流 株式会社

会社紹介

1953年に横浜で「日本運輸」として創業して以来70年にわたり、港湾輸送と通関業を担い、自動車車両および関連貨物に加え、工業用部品や原材料、家具や衣料品などの輸出入貨物を幅広く取り扱っています。AEO制度における「認定通関業者」として、横浜・東京を拠点に国際基準での貨物のセキュリティ体制とコンプライアンス体制を整備しています。国際物流のエキスパートとして、物流ニーズの高度化・多様化に迅速に対応し、サービスのレベルアップへの努力を続けております。

受験料・入校料・授業料・経費 (令和6年2月現在)



受験料



18,000円



入校料



169,200円



授業料



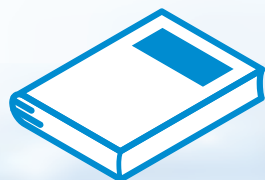
390,000円(1年)



総合保険料



15,850円(2年)



その他

教科書・作業服等



60,000円程度

融資・減免制度等

入校料・授業料の 減免制度等

入校料及び授業料の延納・分納制度があります。学生の世帯の家計の経済状況、学業成績など所定の基準を満たした場合に、入校料、授業料の全額または一部を減免する「減免制度」があります。詳しくは、学務課にご照会ください。

技能者育成 資金融資制度 (労働金庫)

一定の要件を満たした学生に、労働金庫から有利子(年2%)、無担保で一定限度額まで融資します。年間融資上限は自宅通校の場合600,000円、自宅外通校の場合690,000円です。返済は、修了後10年以内となり、元利均等方式による月賦・半年賦併用のいずれかで返済します。利息については、融資を受けた翌月から支払いが発生します。

国の教育ローン (日本政策金融公庫)

入校と在学中にかかる費用を対象とした公的な融資制度です。固定金利で学生1人につき最大350万円まで貸し付けを申請することができます。詳しくは、「国の教育ローン」で検索か、コールセンターへお問い合わせください。

■ 教育ローンコールセンター(0570)008656 または(03)5321-8656

就職支援について

就職率は
100%!

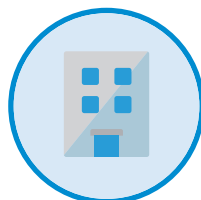
充実の就職支援で学生の進路をサポートします！

求人倍率



19.2倍

求人企業社数



150社

求人数

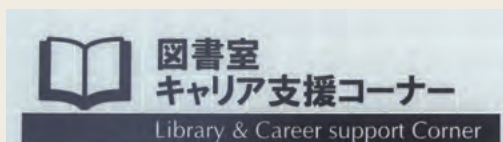


556人

上記の数字は令和5年度の港湾短大横浜校の求人実績の数字です。

当校の学生は横浜を中心とした港湾・物流関連企業を中心に即戦力として期待されております。

学生が自分自身の適性を活かし、自己の能力を最大限に発揮できる職業を選択できるように就職支援アドバイザーと各科の担任、学務課の職員が一丸となって応募書類の作成から本番さながらの面接の練習まで、学生一人ひとりをバックアップしていきます。



求人状況

区分	就職希望者数	求人企業数	求人数	求人倍率
令和5年3月修了対象	34人	113社	446人	13.1倍
令和6年3月修了対象	29人	150社	556人	19.2倍

注: 港湾ロジスティクス科については、年度をまたぐので統計に含みません

就職実績 (過去5年)

F-LINE株式会社
SBSロジコム株式会社
TAKAIDOクールフロー株式会社
東海運株式会社
いすゞロジスティクス株式会社
株式会社ジャパンロジスティクス
株式会社ダイトーコーポレーション
関東港運株式会社
金港サービス株式会社
ケイヒン配送株式会社
コクサイエアロマリン株式会社
山九海陸株式会社
山九株式会社君津支店
三協株式会社
センワマリタイムエージェンシー株式会社
大東港運株式会社
太平洋製糖株式会社
トナミ国際物流株式会社
内外日東株式会社
中谷興運株式会社
日新産業株式会社
ニッパ株式会社
日発運輸株式会社

日本国際輸送株式会社
日本通運株式会社横浜国際輸送支店
原田港湾株式会社
プラスロジスティクス株式会社
丸全昭和運輸株式会社
矢吹海運株式会社
ヤマトグローバルロジスティクスジャパン株式会社
横浜共立倉庫株式会社
一般社団法人日本貨物検数協会横浜支部
一般社団法人日本海事検定協会
宇徳トランスネット株式会社
横浜港湾作業株式会社
岡本物流株式会社
株式会社大洋マリン
株式会社ホンマ
株式会社マルハニチロ物流サービス関東
株式会社ヤマタネ
株式会社ヤマタネロジワークス
株式会社ユニエックスNCT
株式会社三協
株式会社大洋マリン
株式会社天野回漕店
株式会社日新

株式会社日成
株式会社八楠
株式会社味の素コミュニケーションズ
株式会社明正
株式会社野口食品
株式会社鈴江組
京濱港運株式会社
栗林運輸株式会社
鴻池メディカル株式会社
鴻池運輸株式会社国際物流関東支店
国際埠頭株式会社
三井埠頭株式会社
神奈川都市交通株式会社
早川運輸株式会社
相模運輸倉庫株式会社
池田機工株式会社
東京計器レールテクノ株式会社
東京国際埠頭株式会社
東洋埠頭株式会社
楠原輸送株式会社
北王流通株式会社
鈴江コーポレーション株式会社



入試概要（港湾流通科・物流情報科）

入校選考

	選 考	
	特別（指定校）推薦 （A及びB日程で実施）	一般推薦 （A及びB日程で実施）
出願資格	<ul style="list-style-type: none">● 学校教育法による高等学校または中等教育学校を2025年3月卒業見込みの者● 本校の指定する学校に在籍する者● 学業成績が当校の指定する値（調査書全体の平均評定値が3.0）以上であること● 高等学校入学時から出願時点までの欠席日数が10日以内であること● 本校の教育訓練目標を理解し、入校意志が強く、健康であり、学校長が推薦できる者	<ul style="list-style-type: none">● 高等学校または中等教育学校を2025年3月卒業見込みの者● 学業成績・人物とも優秀で、本校への入校意志が強く、健康であり学校長が推薦できる者
選考方法	<ul style="list-style-type: none">● 書類選考・面接	<ul style="list-style-type: none">● 書類選考・面接・小テスト（60分） 英語コミュニケーションI

※D日程は、A～Cの日程による各選考及び一般入試による選考で定員を満たした場合には、募集を行いません。

選考日程

	願書受付	選 考	合格内定
A日程	2024年10月 1日（火）～10月17日（木）	2024年10月26日（土）	2024年10月30日（水）
B日程	2024年10月18日（金）～12月16日（月）	2024年12月21日（土）	2024年12月24日（火）
C日程	2024年12月17日（火）～2025年 1月20日（月）	2025年 1月25日（土）	2025年 1月28日（火）
一 般	2024年12月17日（火）～2025年 1月29日（水）	2025年 2月 6日（木）	—
D日程	2025年 2月17日（金）～ 3月10日（月）	2025年 3月15日（土）	

方 式		
自己推薦 (A～Dの各日程で実施)	事業主推薦 (A～Dの各日程で実施)	一般入試
<ul style="list-style-type: none"> ● 高等学校または中等教育学校を2025年3月卒業見込みの者または高等学校を卒業した者若しくはこれと同等以上の学力を有すると認められる者（高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学試験検定）の合格者） ● 本校の教育訓練目標を理解し、入校意志が強く、健康であり、これらのことを自らが推薦できる者 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ● 書類選考・面接・小テスト(60分) 英語コミュニケーションI 	<ul style="list-style-type: none"> ● 次の要件のいずれにも該当する事業所に在職し、所属事業所の事業主が推薦できる者、高等学校または中等教育学校を2025年3月卒業見込みの者、または高等学校を卒業した者若しくはこれと同等以上の学力を有すると認められる者（高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学試験検定）の合格者） <ol style="list-style-type: none"> 1 雇用保険適用事業所であること 2 事業主が出願者（被推薦者）を当該事業所従業員として雇用していること（または従業員として採用する予定であることを証明できること 3 入校後、修了まで事業主が出願者（被推薦者）に対する継続雇用の責任を有していること <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ● 書類選考・面接・小テスト(60分) 英語コミュニケーションI 	<ul style="list-style-type: none"> ● 高等学校または中等教育学校を2025年3月卒業見込みの者または高等学校を卒業した者若しくはこれと同等以上の学力を有すると認められる者（高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学試験検定）の合格者） <hr/> <p>【港湾流通科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 英語コミュニケーションI(60分) <p>【物流情報科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 英語コミュニケーションI(60分) ● 数学I(90分) <p>※ 港湾流通科と物流情報科をともに出願する場合は、英語コミュニケーションI・数学Iの2科目の受験が必要です。</p>

内定手続期限	合格発表	手続期限
2024年11月14日(木)	2025年 2月17日(月)	2025年 3月 7日(金)
2025年 1月10日(金)		
2025年 2月 7日(金)		
—	2025年 3月18日(火)	2025年 3月28日(金)

Data Base

神奈川県内高等学校出身者数

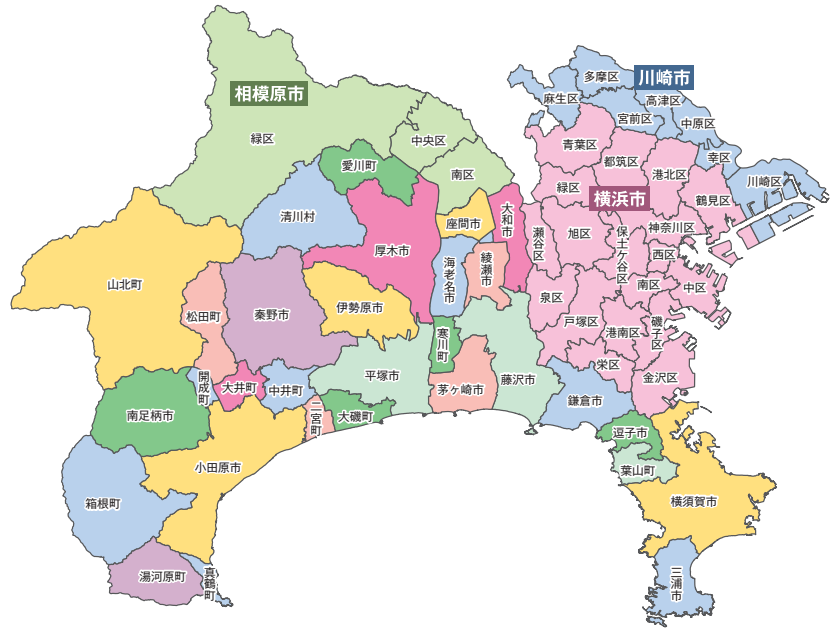
※統合された学校は現在の校名で掲載しています。

川崎市

麻生区		多摩区		宮前区	
麻生	3	生田東	2	川崎北	5
中原区		菅	2	高津区	
川崎工科	5	多摩	1	高津	6
住吉	2	川崎区		幸区	
橋	3	川崎市立	2	川崎総合科学	3
法政大学第二	1	川崎	7	川崎幸	1
		大師	8		

横浜市

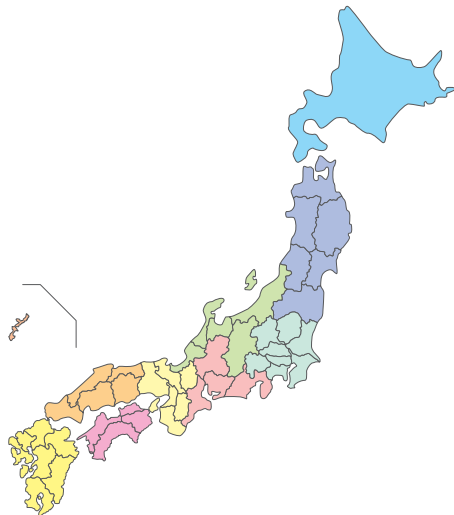
都筑区		港北区		鶴見区	
荏田	4	英理女子学院	3	橋学苑	16
新栄	11	岸根	10	鶴見	5
中央大学附属横浜	6	港北	3	鶴見総合	13
青葉区		新羽	13	鶴見大学附属	8
田奈	1	日本大学	4	東	5
元石川	1	武相	18	神奈川区	
緑区		保土ヶ谷区		神奈川学園	1
神奈川大学附属	1	光陵	1	神奈川工業	21
霧が丘	5	桜丘	1	神奈川総合	1
白山	11	商工	19	城郷	6
森村学園高等部	1	保土ヶ谷	42	横浜翠嵐	3
瀬谷区		横浜清風	9	横浜創英	5
瀬谷	2	旭区		西区	
瀬谷西	11	旭	7	八洲学園	2
横浜単人	3	希望ヶ丘	2	横浜平沼	2
泉区		星槎	3	中区	
秀英	8	横浜旭陵	54	みなと総合	18
松陽	5	横浜商科大学	26	横浜女学院	9
横浜修悠館	2	横浜富士見丘学園	1	横浜立野	21
横浜緑園	32	港南区		横浜中華学院	1
戸塚区		永谷	25	南区	
上矢部	18	南	1	青山学院横浜英和	4
戸塚	6	横浜南陵	24	横浜国際	11
舞岡	5	横浜明朋	14	横浜商業	18
横浜桜陽	18	横浜清陵	31	横浜総合	25
栄区		金沢区		磯子区	
金井	10	金沢	1	磯子工業	13
山手学院	1	金沢総合	37	横浜学園	6
横浜栄	5	金利谷	35	横浜水取沢	44
その他		関東学院六浦	1		
クラーク記念国際	2	横浜	24		
鹿島学園	5	横浜創学館	29		
鹿島朝日	1				
星槎国際	5				
日々輝学園	3				



秦野市		愛川町		相模原市		鎌倉市	
秦野	1	愛川	1	相原	15	大船	1
秦野総合	14	座間市		麻布大学附属	2	鎌倉	1
秦野曾屋	1	座間	4	神奈川総合産業	9	鎌倉学園	1
松田町		座間総合	3	上鶴間	3	鎌倉女学院	1
立花学園	9	綾瀬市		上溝南	2	鎌倉女子大学高等部	2
伊勢原市		綾瀬	3	光明学園相模原	3	逗子市	
伊志田	2	綾瀬西	2	相模原中等教育学校	1	逗子	9
伊勢原	1	生蘭高等専修	1	相模田名	3	逗子開成	9
厚木市		海老名市		相模原青陵	6	逗葉	4
厚木北	1	有馬	3	相模原総合	2	横須賀市	
厚木清南	4	海老名	1	相模原弥栄	6	追浜	3
厚木中央	3	中央農業	3	城山	3	海洋科学	23
厚木西	5	寒川町		橋本	5	湘南学院	7
厚木東	3	寒川	2	大和市		津久井浜	16
南足柄市		茅ヶ崎市		柏木学園	8	緑ヶ丘女子	1
足柄	3	アレセイア湘南	3	大和	2	横須賀	1
大井町		茅ヶ崎	2	大和商业高等専修	1	横須賀大津	4
開成町		茅ヶ崎西浜	8	大和西	1	横須賀学院	13
吉田島	2	鶴嶺	1	大和東	10	横須賀工業	10
二宮町		平塚市		大和南	4	横須賀総合	30
星槎学園高等部湘南校	1	高浜	2	藤沢市		横須賀南	35
二宮	6	平塚学園	5	鶴沼	1	三浦学苑	21
小田原市		平塚湘風	3	湘南	1	三浦市	
旭丘	7	平塚中等教育学校	4	湘南工科大学附属	11	三浦初声	25
小田原	2	平塚農商	3	藤嶺学園藤沢	1	山北町	
小田原城北工業	2	大磯町		藤沢工科	15	鹿島山北	1
小田原東	8	大磯	1	藤沢清流	4		
相洋	2			藤沢総合	13		
西湖	1			藤沢西	2		

神奈川県外高等学校出身者数

北海道	5	群馬	3	京都	1	福岡	8
青森	15	栃木	3	大阪	5	長崎	4
山形	2	茨城	9	兵庫	2	熊本	4
岩手	10	埼玉	15	香川	3	大分	1
宮城	23	千葉	26	高知	1	宮崎	9
福島	8	東京	106	愛媛	1	鹿児島	6
新潟	2	山梨	2	岡山	2	沖縄	2
富山	6	静岡	16	広島	1		
石川	3	愛知	4	鳥取	3		
福井	1	岐阜	2	島根	2		
長野	4	三重	1	山口	2		



よくある質問 Q & A

1 入試について

Q1 高校卒業後、年数がたっているのですが入校できますか？

A1 自己推薦入試と一般入試の受験により入校することができます。なお、港湾ロジスティクス科については年齢制限が55歳となっております。

Q2 今、働いているんですが、入校できますか？

A2 所属先の企業様が「事業主推薦制度」を活用いただければ、退社せずに入校することができます。学務課までお問い合わせください。

Q3 指定校推薦はありますか？

A3 あります。ご自分の学校が指定校かどうか、進路指導ご担当の先生に確認してください。

Q4 理系、文系、どちらが向いていますか？

A4 港湾・物流業界で仕事をする際に必要となる知識・技術を学びますので、理系から文系の科目まで幅広い分野にわたっています。まずは、この業界の仕事に興味・関心をもってください。

2 授業料について

Q5 高校で日本学生支援機構の奨学金の申請手続きをしたのですが、使えますか？

A5 当校は文部科学省が所管する学校ではないため利用することができませんが、これに代わる制度の利用ができます。詳しくは、P.20をご覧ください。

Q6 ほかに奨学金制度はありますか？

A6 「技能者育成資金融資制度」（入校後に手続等の説明をいたします）や「国の教育ローン」（入校前から申し込み可能です）を利用することができます。詳しくは、P.20をご覧ください。

3 学校生活について

Q7 寮はありますか？

A7 ありません。遠隔地から入校される場合は、各自、学校近辺のアパート等に入居いただくこととなります。

Q8 食堂はありますか？

A8 食堂の営業はありませんが、学生ホールに自動販売機（飲料、カップ麺、菓子パン）を設置しております。

Q9 車・バイクでの通学は可能ですか？

A9 自宅からの距離や経済状況等、入校後の審査による許可制を取っています。交通安全の観点から電車・バス等の利用をおすすめします。

Q10 授業は何時から始まりますか？アルバイトはできますか？

A10 授業は8時50分から16時25分までで、1時限は100分です。アルバイトは放課後や休日の学業に差し支えない範囲でするようにしてください。

2025年版 学校案内

募集概要

港湾流通科	-----	20名
物流情報科	-----	20名
港湾ロジスティクス科	-----	10名

オープンキャンパス

施設見学と説明・入試概要・体験授業
(9:00~12:00)

4月21日	5月25日	6月29日
7月21日	7月30日	8月 9日
8月31日	9月 8日	11月 9日

詳しくはホームページをご覧ください

港湾カレッジ

検索



〒231-0811 神奈川県横浜市中区本牧ふ頭1
港湾職業能力開発短期大学校
横浜校

資料請求・お問い合わせ

📞 045-621-5932